

こども・若者への 意見聴取報告書



高知市

こども未来部 こども政策課

目次

| | |
|----------------------------|----|
| 実施概要 | 1 |
| 1. ワークショップ（小学生①） | 3 |
| 2. ワークショップ（小学生②） | 6 |
| 3. ワークショップ（中学生） | 9 |
| 4. ワークショップ（高校生） | 12 |
| こども・若者の意見をふまえた施策への反映 | 19 |
| おわりに..... | 20 |

※表紙写真：R8.2.28 高校生と桑名市長・神谷副市長との意見交換会にて撮影

1. 実施概要

(1) 実施目的

高知市こども計画（仮称）を策定するにあたり、こども・若者の意見を大事にしながらか施策を検討するため、こども・若者のニーズをこども施策へ反映することを目的として意見聴取を実施しました。

(2) 調査方法

高知市内の小学校・中学校・高校に通学しているこどもたちを対象に、ワークショップを実施しました。

(3) こども向けワークショップ概要

ワークショップは計 5 回実施し、参加者は延 86 名となりました。

各回の概要は次のとおりです。

なお、高校生については、高校生①と②で同じ参加者で実施しました。①でグループワークを実施し、②で桑名龍吾市長・神谷美来副市長の前で発表し、意見交換を実施しました。（②にのみ参加の生徒もいるため人数が増えています）

| | 小学生① | 小学生② | 中学生 | 高校生① | 高校生② |
|------|-------------------|------|----------|------|--|
| 日時 | R7.12.20 | | R7.12.21 | | R8.2.28 |
| 対象 | 小学 5～6 年生 | | 中学生 | 高校生 | 高校生 |
| 会場 | オーテピア高知図書館 4 階研修室 | | | | 市役所 本庁舎 6 階 611・ 612・613 会議室 |
| 参加人数 | 18 名 | 17 名 | 18 名 | 16 名 | 17 名 |

ワークショップの流れ（小学生①、②、中学生、高校生①）

- ① ワークショップの目的・子どもの権利についての説明
- ② ワークショップでの決まり
- ③ ブレイクアウト（絵しりとり）と自己紹介
- ④ テーマについてグループワーク

ワークショップの流れ（高校生②）

- ① ブレイクアウト（共通点探しゲーム）と自己紹介
- ② 前回のワークショップの振り返り
- ③ 市長・副市長への発表
- ④ 市長・副市長との意見交換会

ワークショップでの決まり

ワークショップでは、以下を決まり事として子どもたちへ説明し、子どもたちが安心して意見を伝えることができる環境づくりを心掛けました。

1. 年齢や立場に関係なく、誰もが等しく話し合いに参加します
2. 話したくないことは、話さなくてかまいません
3. 今日聞いたこと、誰がどんなことを話したかは、家族・友人・先生も含めて他の人に伝えないようにしましょう
4. 誰かを否定したり、さえぎったりせず、みんなが話せるように協力しましょう

2. ワークショップ（小学生①）

| | |
|-------|---|
| テーマ概要 | テーマ：「 <u>みらいの高知市～あったらいいな、こんなこと・もの・場所</u> 」 |
| | <高知市にほしいこと・もの・場所> |
| | ワーク①今の高知市の好きなところ、もっと良くなってほしいところ ワーク②みらいの高知市にむけて、あったらいいなと思うこと・もの・場所 |

ワーク①今の高知市の好きなところ、もっと良くなってほしいところ

こどもたちからの意見(太字は多く出た意見)

| 好きなところ |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・自然がたくさんある・公園が多い・観光スポットが多く、外国人がたくさんいて交流ができる・食べ物がおいしい（かつおのたたきなど）・高知出身の歴史上の人物が多い・助け合いができるところ・地域の人が優しい・高知城が好き |
| もっと良くなってほしいところ |
| <ul style="list-style-type: none">・大きな施設がない・無料であそべるところを増やしてほしい・交通機関が少ない・新幹線がない・夕方車が渋滞する道路が多い・自転車専用道路がほしい・若い人たちがあいさつをしない・公園のトイレが汚い・公園周辺の道路で危ないところがある |

ワーク②未来の高知市にあったらいいな～こんなもの・こと・場所～

子どもたちからの意見(太字は多く出た意見)

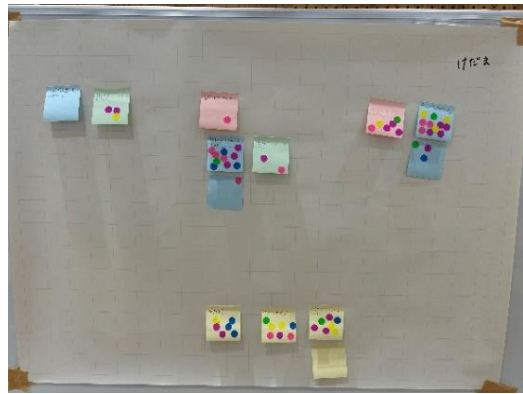
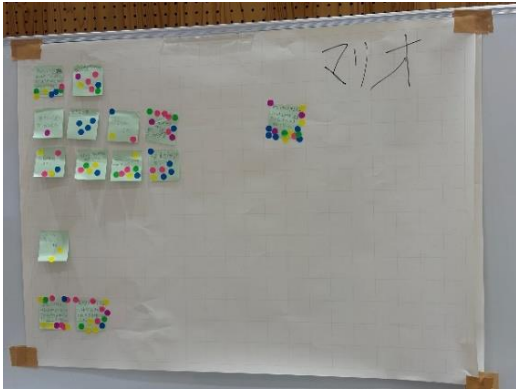
| あったらいいなと思うもの |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・新幹線 ・高知の食べ物を活かした新しい料理 ・予約がいらぬ障がい者用のバス ・街灯を増やす ・Suica など共通の IC カードが使えるようにする ・給食のおかずをもっと増やす ・用水路を見えなくする |

| あったらいいなと思うこと |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・高知でとれたもの、四国の伝統的な食べ物を紹介するイベント ・運動会（地域の人、子ども対大人など） ・街をきれいにする機会 ・大きな公園 ・休み時間を増やす ・無料で何かを作ったり学んだりできるイベント ・学校で下校時間を統一してほしい ・高知の自然が感じられるイベント ・年齢関係なく楽しめるイベント ・小学生だけで遊ぶイベント ・高知市の学校で、どんな場所があったらいいかを聴く機会 ・職業体験ができるイベント |

| あったらいいなと思う場所 | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパーク ・好きなことを極められる場所 ・大きなショッピングモール ・家族や友達と楽しめる場所 ・勉強できる場所 ・スポーツ観戦ができるドーム | <ul style="list-style-type: none"> ・室内で遊べるところ ・ストレス発散専用の場所 ・自然を残しつつ、みんなが安心できる施設 ・ひとりになれる場所 ・予約なしでいける体育館 |

<ワークショップの様子（小学生 1 回目）>

小学生は、各班のまとめシートを順番に見て回り、共感する意見や、いいなと思う意見に、各自シールを貼りました。



分かったこと

- ・子どもたちは、高知市の「自然がたくさんあるところ」に魅力を感じていることが分かりました。
- ・一方で、遊ぶ場所が少ないという意見もあり、室内で遊べる場所や大きい公園、大きなショッピングモールが欲しい、という意見がありました。
- ・職業体験ができるイベントや、年齢関係なく楽しめるイベントなど、子どもたちが何かを学び楽しめるイベントの開催を望んでいることが分かりました。
- ・交通の便について新幹線がほしいといった意見がありました。
- ・安心して過ごすために、街灯が十分にあるか、考える必要があるということが分かりました。

3. ワークショップ（小学生②）

| | |
|-------|---|
| テーマ概要 | テーマ：「みんなでつくるわたしたちの居場所～あったらいいなこんな場所」 |
| | <p><わたしたちの居心地のいい居場所></p> <p>ワーク①自分が居心地のいい場所はどんなところ？</p> <p>ワーク②高知市にあったらいいな、と思う居場所について考えよう</p> |

ワーク①自分の居心地のいい場所はどんなところ？

こどもたちからの意見

| 今安心できる場所・楽しい場所 | その場所のどんなところが好き？ |
|----------------|--|
| 図書室 | <ul style="list-style-type: none"> ・読書が好きだから ・静かだから |
| 学校（教室・グラウンド） | <ul style="list-style-type: none"> ・友達がたくさんいるから ・友達がいて楽しいことがたくさんあるから ・遊具やサッカー・鬼ごっこなどで遊んで楽しいから |
| 山や川などの自然の中 | <ul style="list-style-type: none"> ・水が流れていて気持ちが落ち着くから ・生き物がたくさんいて、自然の音がよく聞こえるから |
| 家 | <ul style="list-style-type: none"> ・家族そろっていると落ち着く ・一番安心できる場所だから ・生まれたところからいるので落ち着く |
| ショッピングモール | <ul style="list-style-type: none"> ・友達との思い出があるから ・遊ぶことがたくさんあって楽しいから |
| 公園 | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなと遊べて楽しいから |
| その他 | <ul style="list-style-type: none"> ・習い事をしている場所（仲が深まる） ・高知県（都会とは違い落ち着く） |

| 好きじゃない場所・苦手な場所 | その場所のどんなところが苦手？ |
|-------------------|--|
| うるさすぎる場所・人が多すぎる場所 | <ul style="list-style-type: none"> ・うるさいのが苦手 ・人が多いのが苦手 |

ワーク②高知市にあったらいいと思う居場所を考えよう

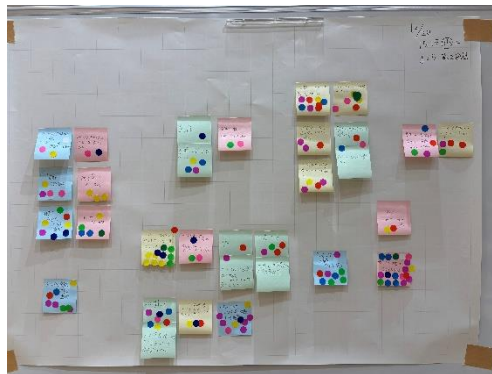
こどもたちからの意見(太字は多く出た意見)

| どんな雰囲気の良い場所？ |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・楽しめるかつ落ち着ける場所・みんなが嬉しくなれる/楽しくなれる場所・みんなが体を動かして遊べる場所・自然豊かな優しい空間・歴史上の人物を知れる場所・学校生活をサポートしてくれる人がいる場所・いやな気持ちになる人が一人もない幸せな空間 |

| どんな人がくる場所が良い？ |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・他の学校の人でも来ることができる場所・老若男女問わず、様々な人が集まる場所 |

| どんなことができる場所が良い？ |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・自然の音など聞いたりできる場所・公園やボードゲームができる・ゲームをしたり、お菓子が食べたりできる場所・遊具がたくさんある場所・ストレス発散ができる場所・外のスペースではこどもが遊び、大人やお年寄りにはベンチで読書をしたりする・建物の中で、カラオケや映画が見ることができそうな雨の日でも楽しめる場所・将来の夢を体験できる場所・自由に何かできる場所・ツリーハウスのようなものが欲しい |

＜ワークショップの様子（小学生 2 回目）＞



分かったこと

- ・こどもたちは、友達がたくさんいる場所（学校や公園、ショッピングモール）と、落ち着く場所（家・山や川などの自然の中）が、居心地が良いと感じていることが分かりました。
- ・一方で、うるさい場所や騒がしい場所に居心地の悪さを感じています。
- ・居心地が良い居場所として、楽しくなれる場所や、落ち着く場所を求めていることが分かりました。
- ・友達と遊んだりおしゃべりしたりする、ストレスを発散できる場所が居心地が良いと感じていることが分かりました。

4. ワークショップ（中学生）

| | |
|--------------|---|
| テーマ概要 | テーマ：「みんなでつくるわたしたちの居場所～あったらいいこんな場所」 |
| | <p><わたしたちの居心地のいい居場所></p> <p>ワーク①自分が居心地のいい場所はどこ？</p> <p>ワーク②高知市にあったらいいな、と思う居場所について考えよう</p> |

ワーク①自分の居心地のいい場所はどこ？

こどもたちからの意見

| 居心地のいい場所 | |
|---|--|
| <p>キーワード：落ち着く・静かな場所</p> <p><家又は自分の部屋></p> <ul style="list-style-type: none"> ・静かで一人の空間があるから ・一人の空間が邪魔されないから ・一人の時間が作れる ・落ち着く、くつろげる <p><自然の中></p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着く、心地よい、うるさくない | <p>キーワード：安心できる楽しい場所</p> <p><学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達がたくさんいる場所だから ・友達と話したり、遊んだりできるから ・友達がたくさんいる場所で話すのが楽しいから |

| 居心地のよくない場所 |
|--|
| <p>キーワード：うるさい、汚い、怖い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみがたくさん落ちている場所 ・うるさい環境の場所（人が多すぎる、がやがやしている） ・街灯が少ないなど、暗くて怖い場所 |

ワーク②高知市にあったらいいと思う居場所を考えよう

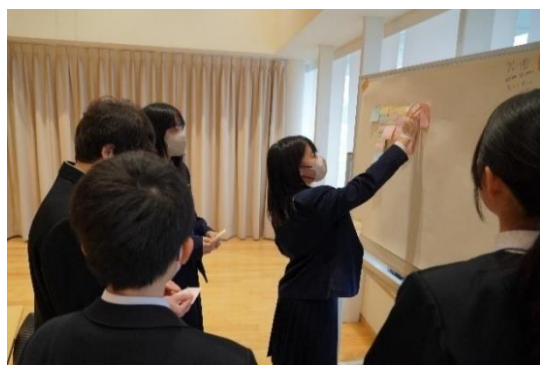
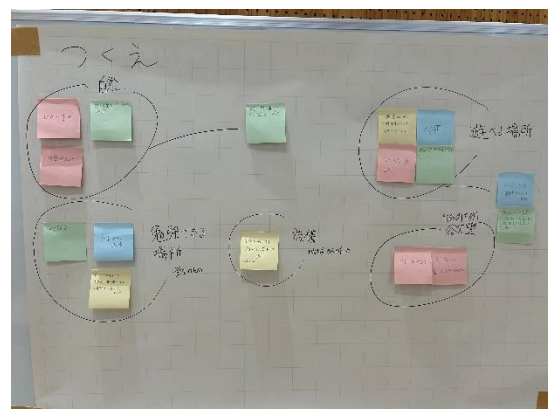
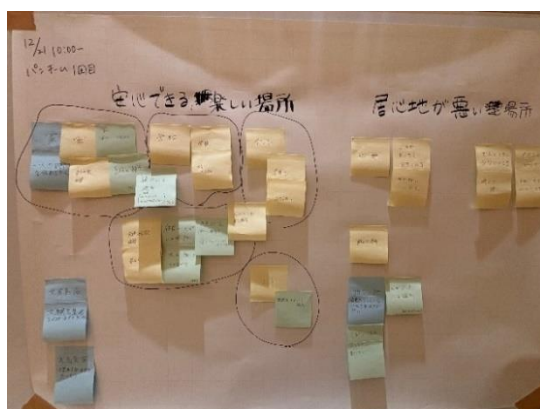
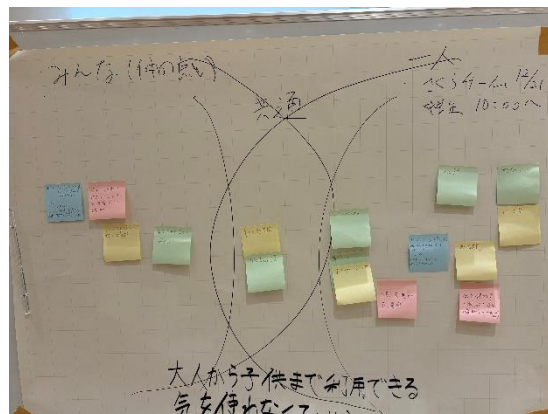
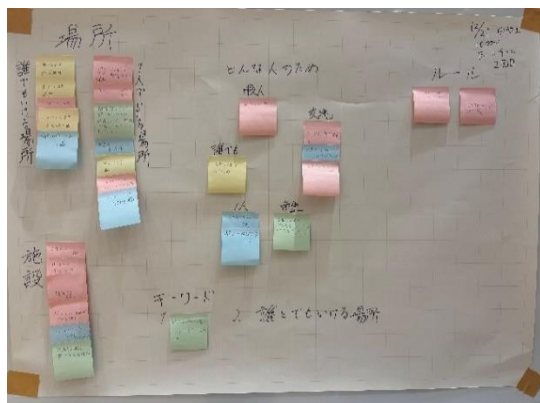
子どもたちからの意見

| A 班（主な意見） | B 班（主な意見） |
|---|---|
| <p>キーワード：勉強できる場所</p> <ul style="list-style-type: none">・オーテピアのように静かに勉強できる場所や環境が欲しい <p>キーワード：遊べる場所</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもだけの場所・公園や遊園地みたいに体を動かして遊べる場所・大型の商業施設 | <p>キーワード：明るいところ・にぎやかなところ</p> <ul style="list-style-type: none">・自然の中で遊べる場所（ジップラインとか）、自然がたくさん見えるところ・遊具などがあり遊べる場所・屋内で遊べる施設・勉強できる場所・県外にあるような大型の施設など |
| C 班（主な意見） | D 班（主な意見） |
| <p>キーワード：大人から子どもまで利用できる気を使わなくていい場所</p> <p>（みんな）</p> <ul style="list-style-type: none">・同じ趣味を共有できる場所・一人で過ごしたり、仲が良い人が過ごしたり、信頼している人だけがいる場所・遊具や、ボールが使えるような大きい公園 <p>（一人）</p> <ul style="list-style-type: none">・プライバシーが確保されている場所・落ち着く静かな場所・気を使わずに勉強できる場所（オーテピアのような） | <p>キーワード：静かにメリハリをつけて過ごせる場所</p> <ul style="list-style-type: none">・プライベートが守られた安心できる場所・自然の中にある公園・一人が好きな人や静かな環境が好きな人のための場所・図書館のような静かでみんなが集まり、勉強できる場所・誰かと教え合いながら勉強できる場所 <p>キーワード：誰とでもいける場所</p> <ul style="list-style-type: none">・誰でも気軽にいける場所・人との交流ができる場所・ボードゲームなど、友達と楽しく過ごせる |

その他の意見

- ・公園のベンチをもっと増やしてほしい
- ・道路の整備、街灯を増やすなどの対応をしてほしい
- ・街中にゴミ箱を増やしてほしい
- ・夏や冬に冷暖房がついているところ

<ワークショップの様子（中学生）>



分かったこと

- ・子どもたちは、明るく楽しい場所や、自然の中で遊んだり、遊具で遊んだり、友達と楽しい時間を過ごす場所を求めていることが分かりました。
- ・一方で、静かで落ち着いて過ごせる場所、勉強できる場所を希望する子どもたちも多くいることが分かりました。
- ・誰とでもいけるところ、子どもだけではなく、大人も自由に過ごせる場所が居心地が良いという意見もありました。

5. ワークショップ（高校生）

| | |
|-------|---|
| テーマ概要 | テーマ：「もしも私が市長なら～未来の高知市へ施策提言！～」 |
| | <p>ワーク①「いま」の高知市を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市の好きなところ/改善したいところ <p>ワーク②現在の課題とみらいの高知に向けた具体的な取組</p> |

ワーク①「いま」の高知市を考えよう

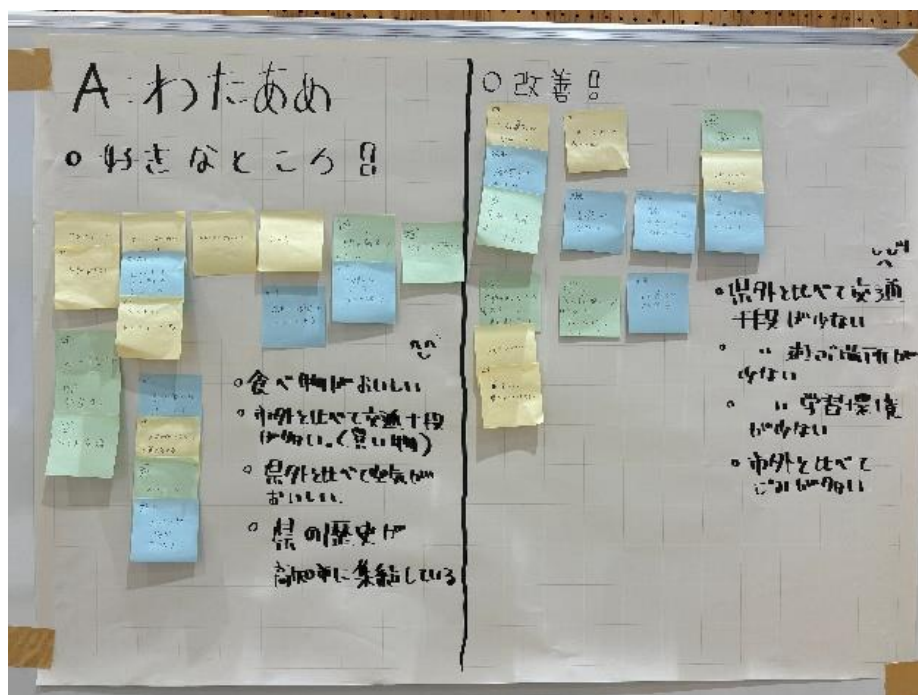
| 好きなところ | |
|--|---|
| <p><施設></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなお店がある ・路面電車が走っている ・図書館が大きい | <p><自然></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然が豊か ・静かで自然が多い ・山や海も近く、川や小川もきれい ・県外と比較して自然が豊か（空気がおいしい） |
| <p><人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人が優しくて温かい。 ・いい人が多い | <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物がおいしい ・よさこいなどのイベント ・県の歴史が高知市に集結している |

| 改善したいところ | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶところが少ない ・学習できるところが多くない ・幅広く専門的なことを学べるところが少ない ・遊園地や水族館が少ない ・お金を使わずに遊べるところが少ない ・こどもが少ない | <ul style="list-style-type: none"> ・県外に出る人が多い ・子どもと高齢者が関わる場所が少ない ・川で遊べるところが減ってきている ・中心部とそれ以外で地域格差がある ・交通が不便 |

ワーク②現在の課題と、未来の高知市に向けた具体的な取組

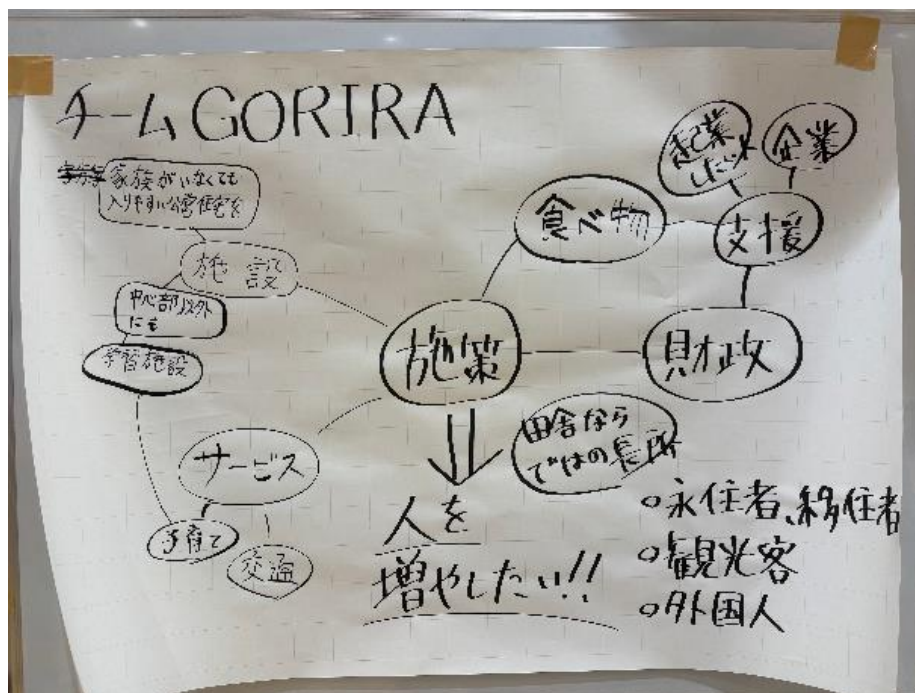
A班（チーム名：わたあめ）

| 課題と取組 |
|--|
| <p>課題① 県外と比較して交通手段が少ない 課題② 学習環境が少ない</p> <p><課題について></p> <p>課題①</p> <p>公共交通の本数が少なく、時間によっては待ち時間が多く発生する。また待合室に屋根がなく、ただ時間がすぎるのを待つ場合もある。こういった状況が利用者の減少にもつながっているのではないか。</p> <p>課題②</p> <p>学習環境に地域差があり、市中心部は学習環境が整っているものの、地域によっては学習場所が少ないところもある。また、オーテピアのような学習施設は人気があり、人が多くて勉強したくても勉強する場所がないこともある。</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・本数が少ない公共交通の課題と、学習環境が少ないという課題解決のために、駅の待合スペースで勉強できる環境を整え、学生の公共交通の利用を増やすとともに、学習環境がない、といった課題解決を図る。・空き店舗や空き事務所を有効活用し、勉強できる場所や施設、機会を増やす。 |



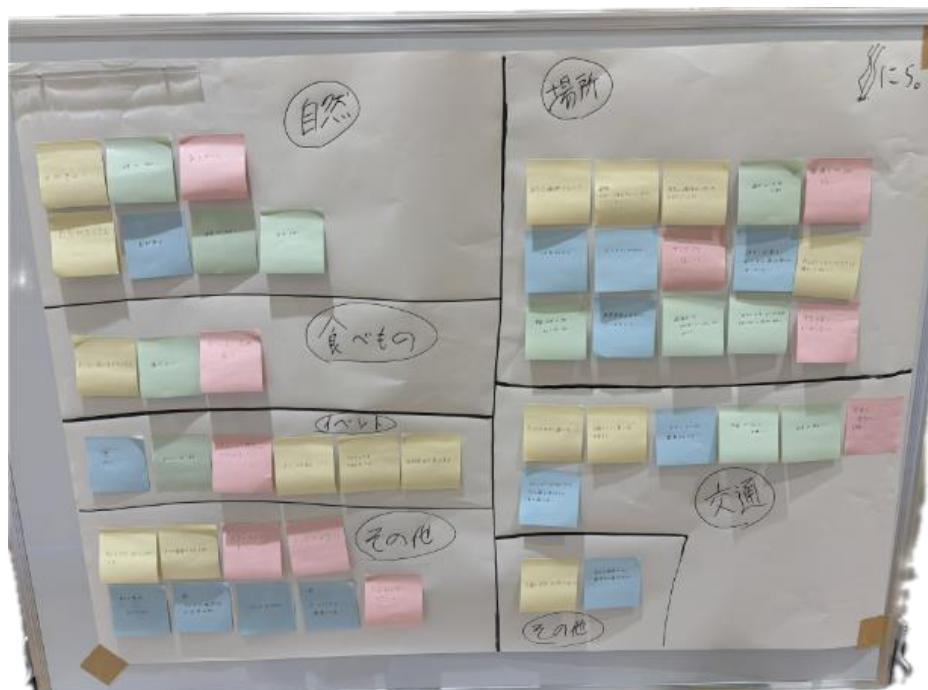
B 班 (チーム名 : GORIRA)

| 課題と取組 |
|---|
| <p>課題 : 人を増やしたい (移住者、観光客、外国人)</p> <p><課題について></p> <p>市にサービス・学習環境・子育て・交通など様々な課題があるが、総じて人口を増やすことが中心の課題であり、そのための各サービスの拡充を検討する。</p> <p><取組></p> <p><u>施設</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族がいなくても入りやすい公営住宅を作る ・中心部以外にも学習施設を作る <p><u>サービス</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てや交通関係のサービスを充実させ、人が集まる市にする <p><u>財政</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・色々な施策を行うための財源を集めるため、起業したい人や、企業誘致の支援を行い会社が高知市へ来てもらえるよう働きかける <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物や田舎ならではの長所を生かし、移住者・観光客・外国人へアピールする。アピールにおいては、市長や副市長も SNS を積極的に活用し、若者を中心にアピールする。 |



C班（チーム名：にら）

| 課題と取組 |
|--|
| <p>課題① 学習環境の整備</p> <p><課題について> オーテピアなど勉強できる場所は、満席なことが多く勉強できる場所が限られている</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・市役所の空きスペースを使うなど、市の施設を使って勉強できる場所を増やす・オーテピアなど既存の場所の勉強スペースを増やす |
| <p>課題② イベントを中心とした高知のアピール</p> <p><課題について> よさこいなどのイベントを使って、高知の良さをアピールしたい</p> <p><取組></p> <ul style="list-style-type: none">・よさこいの広報活動をもっと行い、県内だけではなく県外のパフォーマンスを増やし、高知市の知名度をあげる・観光客など県外の人に高知に来てもらうために、交通手段の充実を図る（よさこいの踊り子のための臨時バスを運行するなど） |



D 班 (チーム名 : バック)

課題と取組

課題①地域活性化、移住者・観光客へのアピール

<課題について>

高知市は、「人」が魅力であり、その良さを移住者・観光客へアピールし、地域の活性化につなげたい

<取組>

「人のつながり」という高知の良さを生かし、地域での中小規模のつながりを増やすラジオ体操やスタンプラリーなどの地元店によるイベント など

この際、外国語表記も増やすなど、外国からの観光客への魅力アピールも行う。

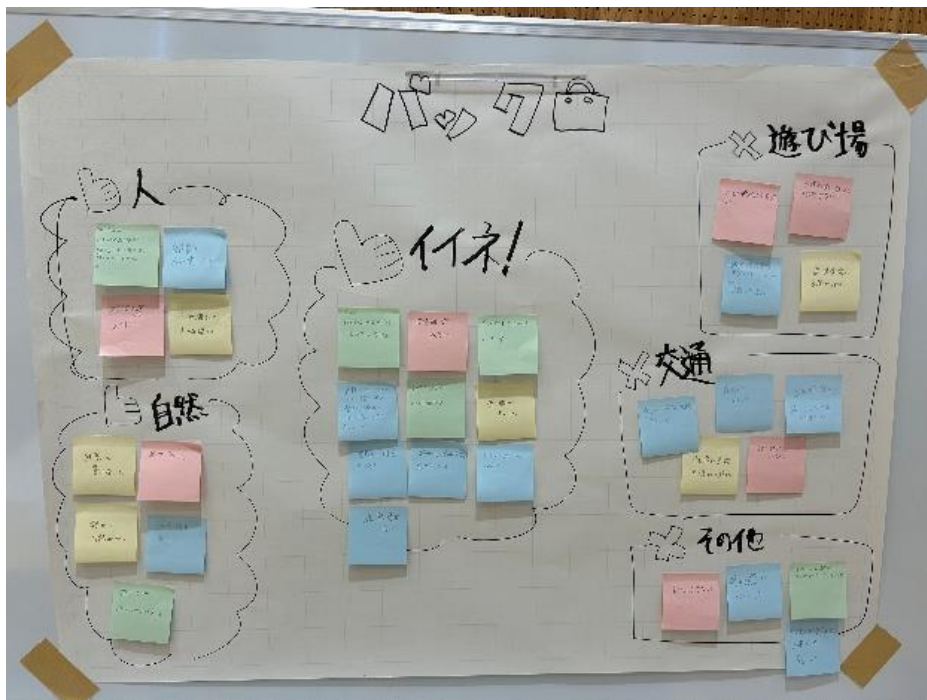
課題②交通（細く通りにくい道の改善）

<課題について>

細く通りにくい道が多く、自転車を運転すると危ないと感じる場面が多い。

<取組>

・広い道路については、一部に自転車専用道路を設置し、自転車と自動車とが双方安全に運転できるようにする。



＜市長・副市長との意見交換会＞

高校生二回目のワークショップでは、一回目で考えた施策を市長・副市長へ発表（施策提言）しました。後半では、市長・副市長と直接、意見交換会を実施しました。

＜意見交換での主な意見＞

● 学習環境について

・学習環境の確保は、例えば市の SNS などで、勉強できる場所や開放状況を定期的に知らせてくれるといいなと思う。

・オーテピアなどの既存の学習スペースはすぐ満席になってしまう。家で勉強もするが、誘惑が多く、周りも勉強している環境で勉強したい。

● 高知市の魅力のアピールについて

・高校生を中心とした若者は、SNS からの情報収集が多い。高知市内の人に対してだけでなく、高知市を知らない人に興味を持ってもらえるような SNS の活用をしてほしい。

・県外の人に高知に来てもらうだけでなく、全国の様々なイベントに高知のチームがよさこいを踊りに行き、アピールすることが大事だと思う。

・よさこいは全国にもあるが、高知市発祥であること、よさこい = 高知市ということをもっとアピールしてほしい。

● 自転車通学の安全性や、交通手段について

・道を広げるのは、そこに今あるお店・家などを壊さなくてはいけないので現実的ではないと思っているが、広い道路などは自転車専用道路をつくるなどして安全性を確保してほしい。

・バスや汽車、電車については、本数が少なく不便。進学先が限られるなどの問題もあり、代替的な交通手段も含めて検討してほしい。

● その他

・今回のように他校の生徒や、市長・副市長といった大人の方と意見交換をできる場がほとんどなかった。日常的にもこういった「意見交換ができる場」をもっと増えてほしいです。

・イベントは地域によって格差があって、高校生のような若者も気軽に参加できるような企画（夏休みのラジオ体操・商店街でのスタンプラリーなど）をしてほしいです。

<ワークショップの様子（高校生）>



分かったこと

- ・学習環境が少ないことについて、たくさんの意見があり、オーテピアのように自由に勉強できる環境を求めていることも多いことが分かりました。
- ・よさこいなどのイベントや人とのつながりといった高知の良いところを、もっと市内外へアピールし、観光客・移住者を中心に高知に人を増やすことについての意見がありました。
- ・公共交通についての課題だけでなく、自転車専用道路の整備、学習環境と絡めて駅に学習できるスペースを作り利用者を増やす、といった施策の提案がありました。

6. こども・若者の意見をふまえた施策への反映

① こどもたちが安心して過ごせる居場所づくり

＜こどもたちの意見から分かった課題＞

こどもたちからの意見では、落ち着いた静かな場所がいい、という意見と、みんなが年齢関係なく楽しめる場所がいい、という意見がありました。静かに勉強したい人、プライバシーを守って一人で過ごしたい人、みんなで楽しく遊びたい人、どんな人にとっても居心地の良い居場所づくりを考える必要があります。

＜検討している施策＞

行政、地域、民間が連携し、市有・民間の施設を問わず、こどもたちが安心して過ごせる居場所の充実に向けて検討します。

② 学習環境の確保

＜こどもたちの意見から分かった課題＞

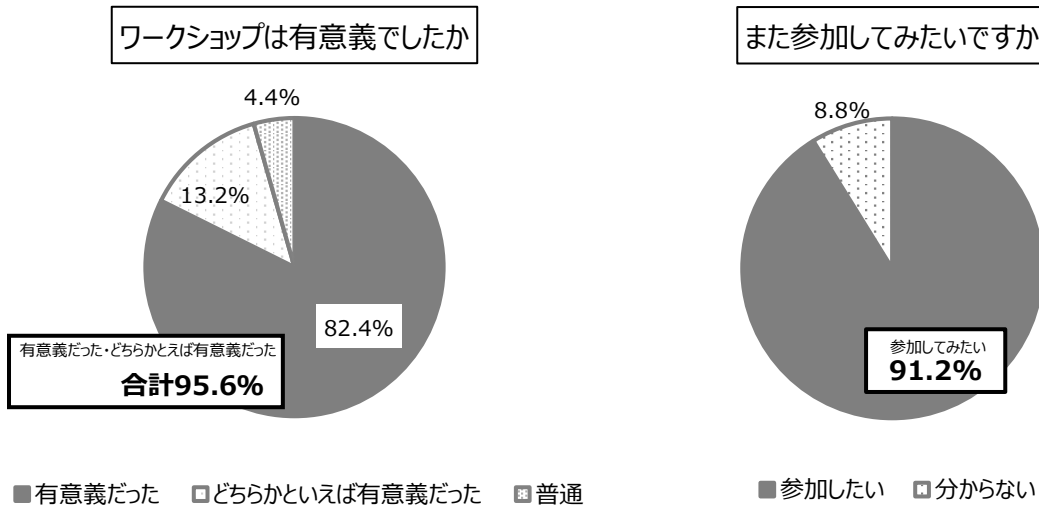
こどもたちからの意見では、学習できる場所の少なさや、学習環境に地域格差があることについて意見が多くありました。また、オーテピアのような勉強ができる場所は、いつもたくさんの方が勉強しており、席が空いていない場合も多い、という課題がありました。落ち着いた勉強できる場所の確保が必要です。

＜検討している施策＞

今回のワークショップでのこどもたちの声を受けて、市役所の空きスペース・市内のふれあいセンター、公民館など、公有施設の空きスペースを使った学習環境の確保の実現に向けて検討を進めています。

7. おわりに

<参加者の声（開催後のアンケートより）>



自由記述（抜粋）

- ・自分には思いつかない意見があって面白かった（小学生）
- ・次もこういった企画があれば参加したい（小学生）
- ・みんなでわいわい考えるのが楽しかった（小学生）
- ・今日やってみて人と話すことが楽しいということが分かった（小学生）
- ・高知には自然や食べ物がすごくおいしく、きれいで改めて高知っていいなと思った（小学生）
- ・高知県への思い、考え方が変わりました。このような時間をもっとしてほしいと思いました（小学生）
- ・自分の居場所は、意外にもたくさんあるのだなと知って驚いた（中学生）
- ・居心地の良い場所は、気を使わなくていい所、大人から子どもまで楽しめる場所だと気づいた（中学生）
- ・人によって考え方や感じ方が違うので、このような場をもっと増やしてほしい（中学生）
- ・他の学校の方の意見を知れて、とても考えが深まった（中学生）
- ・自分の知らない意見や違った考えを持っている人が、世の中にはたくさんいるのだなと知った（中学生）
- ・他の学校の子とも仲良くなれてすごく貴重な時間だった（中学生）
- ・1人1人違った意見の中でも、お互いを尊重しながら話し合うことができました。（中学生）
- ・意外に高知に対して欲しい物や場所が多く、次回参加する時があれば、参加したいと思う時間だった（中学生）
- ・こういう機会を通じて、自分の住んでいる場所の良い所や改善点を改めて考えることができ良い機会だった（中学生）
- ・高知市の課題はまだあるけど田舎ならではの良さを生かした施策を考えていけたらいいなと思った（高校生）
- ・高知市の良いところを再確認できてよかった（高校生）
- ・人と話すことで、自分の気づかない観点から物事を見ることができた（高校生）
- ・他校の人と関わって楽しかったし、もう一度やりたい（高校生）
- ・色々な課題を出して気づいたことは、お金が必要だということでした（高校生）
- ・このような機会をもっと増やして、若者の意見がもっと高知市に広まってほしいと感じた（高校生）

今回、アンケート調査にご協力いただいた皆様、ワークショップに参加していただいた小学生・中学生・高校生の皆様、ご協力をいただいた各学校の先生方、保護者の皆様、ありがとうございました。

今回のワークショップでいただいた意見を十分に活かしながら、今後の高知市の施策を検討してまいります。

また、ワークショップの参加者アンケートでは、「自分と違う意見が聞けて面白かった」「他校の人と意見交換ができてよかった」「市長・副市長と直接意見交換ができて嬉しかった」という声をいただきました。今後も、様々な形で、若者・こどもの意見を聴く機会を設けていき、皆様の声を反映し「みんなで創るつながりのあるまち」高知市の実現を目指していきます。

＼ ご協力ありがとうございました /

小学生①の皆さん



小学生②の皆さん



中学生の皆さん



高校生の皆さん

